

日本天文学会 1955 年春季年会 プログラム

日時：1955 Ⅳ 29 (金), 30 (土), Ⅴ 1 (日)

場所：東京大学(本郷)及び科学博物館(上野)

◇一般講演及び総会：理学部別館

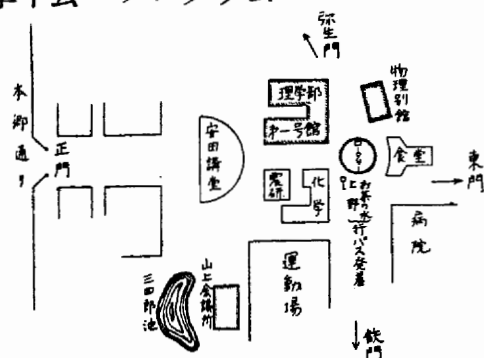
◇シンポジウム

位置天文学：理学部1号館110号室

天体物理学：" " 233号室

◇懇親会：山上会議所

◇公開講演：科学博物館講堂



第1日 4月29日(金) 午前9時より

【午前の部】

- | | |
|---|----|
| 1. 斎藤国治・秦 茂 (東京天文台): 天文に應用されている写真材料の分光感度の調査 | 分 |
| 2. 片山 昭 (神戸海洋気象台)・豊田耕三 (甲南大学):
星のシンチレーションについて (Ⅳ) | 10 |
| 3. 古畑正秋・富田弘一郎・北村正利・田鍋浩義・中村 強 (東京天文台):
冥王星の変光について | 5 |
| 4. 下保 茂 (東京天文台): 新変光星の調査報告 (I) | 10 |
| 5. 北村正利・中村 強 (東京天文台): 特異近接食連星 BH Vir について | 7 |
| 6. 川畑周作 (京大理): ζ Aur の大気について | 7 |
| 7. 細川良正 (山形大理): 主系列星の周辺減光係数について | 10 |
| 8. 守山史生 (東京天文台)・三沢邦彦 (香川大学): 60 Mc/s 干渉計について | 7 |
| 9. 田中春夫・柿沼隆清 (名大空電研究所): 4000 Mc/s における静かな太陽面上の輝度分布 | 10 |
| 10. 畑中武夫・鈴木重雅・土屋 淳 (東京天文台):
200 Mc/s 太陽電波バーストの偏波について | 10 |
| 11. 高倉達雄 (東京天文台): 偏波バーストの発生機構について | 10 |
| 12. " ("): 火薬爆発に伴つて生ずる電波雑音 | 10 |
| 13. 服部 昭・柿沼正二 (京大理): 電波星について | 7 |

【午後の部】

- | | |
|--|----|
| 14. 馬場 齊・東 康一・小沢 達 (東京天文台):
シーロスタット用光電追尾装置の試作について | 7 |
| 15. 長沢進午・林 利和・山口喜助 ("):
コロナ緑線強度と黒点との関係について | 7 |
| 16. 野附誠夫・中込慶光・深津正鉄 ("):
黒点極小期附近のコロナ強度と地磁気擾乱との関係 | 7 |
| 17. 難波 収 (大阪学芸大): 閃光スペクトル線の絶対強度スケールについて | 10 |
| 18. 宮本正太郎 (京大理): 吸収線輪廓と光球の構造 | 7 |
| 19. 上野季夫 ("): 確率函数による輸送方程式の解について | 7 |
| 20. 斎藤澄三郎 ("): B2 型星のモデル大気について | 7 |
| 21. 藤田良雄 (東大理): 赤色炭素星について | 10 |
| 22. 須田和男 (東北大理): 対流平衡殻をもつ星のモデルについて | 10 |

【シンポジウム】 午後の講演終了後 (3 時頃より)

位置天文学シンポジウム

須川 力 (緯度観測所): 位置天文における天文屈折に関する問題について

天体物理学シンポジウム

稲場文男 (東北大理): 太陽大気の運動について

高倉達雄 (東京天文台): 太陽電波の発生機構

第 2 日 4 月 30 日 (土) 午前 9 時より

【午前の部】

- | | |
|---|----|
| 23. 足立 巖 (大阪工試): 20 吋シュミット補正板の表面検査について | 5 |
| 24. 小林義正 (京大理): Faks カメラを改良した新光学系の設計について | 7 |
| 25. 松本淳逸 (東京天文台): 印字クロノグラフ | 5 |
| 26. 飯島重孝・加藤義名 (東京天文台):
遠距離無線報時電波のドップラー効果測定装置について | 10 |
| 27. 飯島重孝・河野 昇 ("): P Z T 操縦用音片時計について | 10 |
| 28. 飯島重孝 ("): 三鷹・ワシントン間の時刻観測の系統差について | 10 |
| 29. 飯島重孝・岡崎清市 ("):
ワシントンの時計, 観測から求めた地球自転の季節的变化 | 10 |
| 30. 宮地政司 ("): 自転時と原子時との比較 | 10 |
| 31. 畑 隆一・伊藤精二: 1954 年日本天文研究会員による掩蔽観測 | 5 |
| 32. 広瀬秀雄・富田弘一郎 (東京天文台): 四分儀座流星群について | 7 |
| 33. 村山定男 (国立科学博物館)・斎藤馨児: 流星塵の採集について | 10 |
| 34. 村上忠敬 (広島大学): 年間における流星群出現の概況 | 7 |
| 35. " ("): 流星毎時数の年周および日周変化の理論 | 10 |

【日本天文学会総会】 4 月 30 日 午後 0 時 30 分より

【午後の部】

- | | |
|---|----|
| 36. 中野三郎 (東京天文台): 月の子午線観測 | 7 |
| 37. 虎尾正久 ("): P Z T 観測に対する月の影響 | 10 |
| 38. 植前繁美 (緯度観測所):
水沢における新旧両天頂儀による緯度の同時観測結果について | 10 |
| 39. 後藤 進 ("): 浮游天頂儀の振動について | 10 |
| 40. 弓 滋 ("): 再び closing sum について | 10 |
| 41. 高木重次 ("): 水沢の確定経度について (I) | 10 |
| 42. " ("): 星の視位置計算における注意 (V) | 10 |
| 43. 竹内端夫 (東京天文台): 曆表時による小惑星計算 | 8 |
| 44. 古在由秀 ("): 土星の内衛星の運動 | 10 |
| 45. 関口直甫 ("): 地球の核の粘性の極運動に及ぼす影響について | 10 |
| 46. 荒木雄豪 (京大理): Bravais の方法による太陽運動の決定 | 8 |
| 47. 菊池定衛門 (東北大理): 錐形恒星集団の平均運動 | 7 |
| 48. 高瀬文志郎 (東京天文台): 銀河系における密度分布について | 10 |
| 49. 成相秀一 (広島大理論物理研究所): 宇宙物質分布の平均化について | 10 |

【懇親会】 午後の講演終了後 (5 時半頃より)

第 3 日 5 月 1 日 (日) 午後 1 時 30 分より

公開講演 (上野科学博物館)

- ◇6 月 20 日の皆既日食について 末元善三郎氏
 ◇曆表時について 宮地政司氏